

(要領第5の2(1)関係)  
(様式3)個別箇所評価シート

分野	砂防施設整備		事業番号	8	事業名	砂防(通常砂防)						
市町村名	辰野町	ふりがな 箇所名	にわか 楡沢		いなどみ 伊那富	事業年度 (完了年度は見込み)	H25	年度～	H29	年度		
事業概要	区分	事業内容			事業費(千円)	財源内訳(千円)						
	全体	砂防堰堤工 1基 (1号堰堤 H=9m L=64m)			200,000	国庫	100,000	その他	県債	90,000	一般財源	10,000
	H25年度	測量・設計・調査 1式			15,000	7,500			6,750		750	
箇所評価	区分	評価項目・指標等		評価			ランク	評点				
	必要性 (30)	保全対象人家	■ 10戸以上		□ 1～9戸	□ 0戸	A	10				
		保全対象公共施設	■ 2箇所以上		□ 1箇所	□ なし		8				
		保全対象に要援護者施設があるか	□ 重要施設有り		■ 一般施設有り	□ なし		6				
		保全対象に避難所、避難経路があるか	■ あり		□ なし			2				
		小計						26				
	重要性 (15)	過去の災害履歴	■ 過去20年に1回以上		□ 災害履歴地	□ なし	A	5				
		交通遮断による地域経済などへの影響	■ 大		□ 中	□ 小		5				
		防災計画上の位置づけ	■ あり		□ なし			5				
		小計						15				
	効率性 (15)	費用対効果(B/C)	■ B/C1.5以上		□ B/C1.0以上1.5未満	□ B/C1.0未満	A	10				
		早期発現度	□ 5年未満		■ 5年以上10年未満	□ 10年以上		3				
		流域の総合調整(関連事業の有無を含む)	■ 検討あり		□ 検討なし	□		1				
		小計						14				
	緊急性 (25)	地質・地形の状況	□ 地質が脆弱かつ地すべり地形		■ 地質が脆弱	□ その他	A	5				
		植生の状況	■ 無林地や倒木が多い		□ 放置林	□ その他		4				
		平均渓床勾配	■ 10度以上		□ 2度以上10度未満	□ 2度未満		7				
		土砂整備率	□ 0%		■ 0%より大50%未満	□ 50%以上		5				
		小計						21				
	計画 熟度 (15)	地域からの要望	■ 強い要望がある		□ それほど高くない	□ 特に要望ない	A	7				
地元の協力		■ 協力が得られる		□ 概ね協力が得られる	□ 現時点で得られていない	8						
小計						15						
費用対効果(B/C)		16.49		評価の合計			A	91				
事業周 辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	H18年に土砂流出が発生し、農道に達している。農道直下には保全対象家屋、公共施設等が多数存在しており、重大な災害につながる恐れが高いため、当該渓流を緊急に保全する必要がある。										
	地域からの要望経緯	H23年役場から現地調査の際に要望あり。										
	事業説明等の経緯	事業実施が確定次第、地元説明会を開催予定。										
	環境・景観への配慮項目	工事に伴う地形改変を極力少なくするよう計画。										
	他事業・プロジェクトとの関連	治山事業と調整中。										
	特記事項	H20年 土砂災害防止法指定。										
地域の合意形成	■ 全員賛成		□ 概ね賛成	□ 過半数賛成	□ 動向不明							
部意見	当流域には、不安定な渓床堆積物と多くの倒木が存在しており、保全対象まで沢出口が迫っている為、次期降雨による、土砂と流木の流出と保全対象への被害が懸念される。保全対象には病院、災害時要援護者施設、避難所が含まれており、速やかな土砂災害対策が必要である。				行政改革課 意見	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。						